

'52 Vintage Telecaster

1940年代の終わり、音楽シーンで脚光を浴びていた、ラップスチールの延長線上にスタートしたフェンダーのファーストプロダクションは、ドレッドノートギターとのボディシェイプに似たピックアップマウントのソリッドボディギターであった。ただそれだけのものではなかった。おそらくフェンダーは今、存在していなかったかもしれない。

しかしそのギターこそは、フェンダーが今日、確固たる地位を築き得る数々のエポックメイキングなアイデアを有し、ギター史を変革するほどにショッキングなものであった。例えばデタッチャブル・1ピースメイプルネックである。

ネックをギターのパーツとしてとらえ、4本のスクリューでボディに取り付けるという、かつて誰一人として考えたことのないこのシステムは、製造ラインの合理化という作り手のメリット以上にプレイヤーにとって万一のトラブルにもネックだけを交換出来るという画期的なものであった。

そしてこのネックはメイプルの1ピースであり、ギターにとって不可欠なはずのフレットボードがなく、フレットはネック表側に直接打たれ全体にクリアラッカーが施されていた。これもまた他に例のない見逃せない点である。

さらにもう一つ、ネックに対し角度をつけていたヘッドを見直し、フレット面と平行に一段下げたヘッドセッティングを生み出し、同時に

糸巻を片側一列に配することで、テンションは確保しながらもナット部で弦の不要な曲がりをなくし、しか

もギターにとってウイークポイントであったこの部分の強度を飛躍的に向上させることに成功したのであ

った。

1948年に始まり、'51年に正式に名付けられ、翌年広くシーンに送り出された偉大なるギターブランド・フェンダーのデビューを飾ったギター「テレキャスター」である。以来1/2世紀にも及ぶとする年月を経て、なお不動の人気を保ち続けるエレクトリックギターの原点である。'52ヴィンテージ・テレキャスターはまさにこの完璧なリイッシュである。

Frets

フレットはメイプルネックに直接打ち込まれ、ラッカーフィニッシュされる。ラッカーがフレットのすき間に入り、グリッサンドがし易くなるという思わぬ効果も生まれた。

Bridge Plate

フラットポールピースのリアピックアップと、プラスブリッジをセットしたブリッジプレート。シリアルナンバーは当時のまま、ここに刻印されている。

Pickup Selector

ピックアップセレクターは3ウェイ。リア側にした時リアピックアップを、センターにした時フロントピックアップを選択し、フロント側になるとキャパシターを経由し、高域がカットされないいわゆる bass-tone がフロントピックアップから出力される。



Vintage Telecaster Body



Vintage Telecaster Bridge



Pickup Selector

'52 Vintage Telecaster

(Re-issue of 1952 production)

Pickups	1 Vintage single coil neck
	1 Vintage single coil bridge
Controls	1 Volume, 1 Tone
	Pickup Selector
Pickup Selector	3 position (bridge/neck/neck [bass tone]) (Convertible to bridge/both/ neck)
	Scale Length
Fretboard	25.5" (647.7mm)
Frets	Maple
Radius	21 Vintage style
Tremolo	7.25" (184.2mm)
Body Material	—
Color	Ash
Special Features	850
	—



Vintage Telecaster Machine Head